品番
ASN-A型

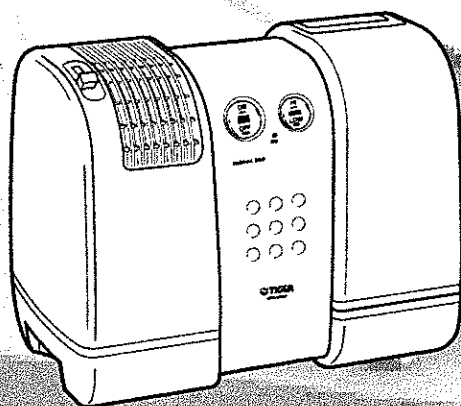
タイガー ハイブリッド式 加湿器

取扱説明書

〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

minus ion

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

温 風 と 気化加湿 を組み合わせたハイブリッド式加湿器

ハイブリッド式

ヒーターで温められた「温風」と、水に風をあてて気化させる「気化加湿」を組み合わせた加湿器です。

ヒーターと気化の複合方式なのでスチーム式加湿器と比べて電気代が節約できます。

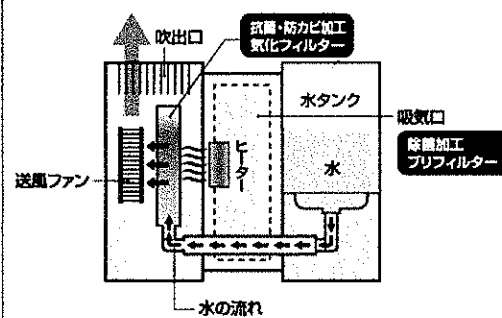
吹出口からの風が熱くないので安全です。
水を沸とうさせず、フィルターを温めて水を蒸発させるので、倒れても熱湯がこぼれず安全です。

立ちあがりが早く、お部屋全体をすばやくムラなく加湿します。

マイナスイオンを発生

森林や高原など、自然界に豊富なマイナスイオン。このマイナスイオンを電気方式で大量に発生させることで、プラスイオンを中和させて空気を浄化します。
運転時は加湿をしながら、マイナスイオンを吹出口より発生させてお部屋をリフレッシュします。

ハイブリッド式加湿器のしくみ (模式図)

水を沸とうさせず、直接フィルターを温めて水を蒸発させるので、万一倒れてもやけどの心配がありません。

蒸気や霧は見えません。
気化フィルターに風をあてて湿った空気が吹出口より出ますので、スチーム式や超音波式のような蒸気や霧は見えません。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

(分解禁止)

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

(強制・指示)

(差し込みプラグを抜く)

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

⚠警告

電源コードは傷んだまま使用しない。
(傷つける・無理に曲げる・引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・挟み込む・加工するなど)
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ(磁石式)の先端にピン等金属片やゴミを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないよう注意すること。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると水がこぼれたり、けがのおそれがあるので充分注意すること。

運転停止直後はヒーターケース周辺に手を触れない。
やけどやけがの原因。

不安定な置き場所には置かない。
転倒すると水がこぼれる原因。
また安全装置の誤作動の原因。
毛あしの長いカーペットなどの上には置かないようにすること。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

吸気口や吹出口、送風ファン、すき間などにピン、針金など金属物(異物)を入れない。
感電や異常動作してけがをするおそれ。

お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
感電やけがをするおそれ。

改造はしない。
修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

使用中や使用直後は持ち運ばない。
水がこぼれるおそれ。

差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

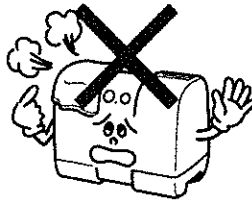
使用中や使用直後はお手入れをしない。
高温部に触れ、やけどの原因。

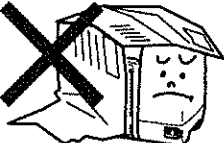
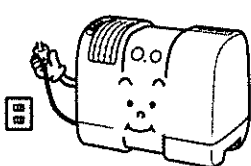
お願い

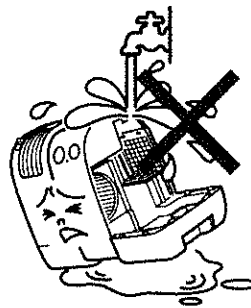
●**熱に弱い物の上では使用しない。**
テーブルなどが変色、変形するおそれ。

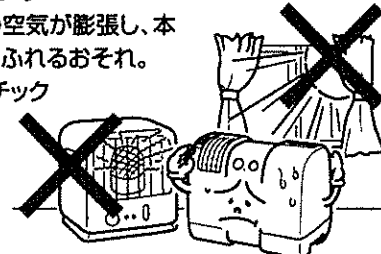
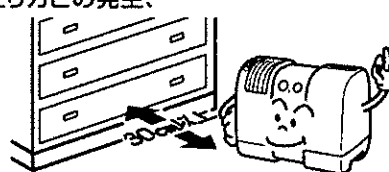
●**水タンクおよび水槽に水道水以外の水を入れない。**
使えない水
●浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水など
水道水（飲料用）は、抗菌処理がされており、その他の水は抗菌作用がないため、カビや雑菌が発生しやすい原因。
●温水（40℃以上）、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水など
本体が変形し故障の原因。

●**この製品専用の電源コードを使用する。**
他に転用したり、類似のものを使用しない。
故障・発火のおそれ。

●**吹出口をフキンなどでふさがない。**
故障の原因。

●**吸気口や吹出口、ヒーターケースをふさいで使用しない。**
故障の原因。

●**本体は両手を使って水平に持ち運ぶ。**
傾けたり、転倒すると水がこぼれるおそれ。

●**お手入れするとき、気化フィルターを交換するとき、使用後、水槽や本体内部に残った水を捨てるときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。**
やけどのおそれ。

●**本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使用しない。**
洗剤から有害ガスが発生し、健康を害するおそれ。
また、故障の原因。

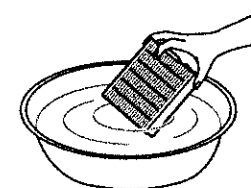
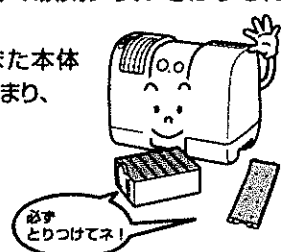
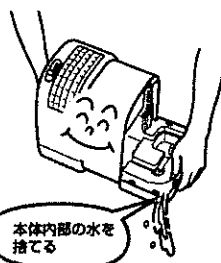
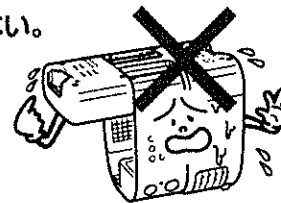
●**丸洗いはしない。**
本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●**直射日光のあたるところや、暖房器具の近くで使用しない。**
水タンク内の空気が膨張し、本体から水があふれるおそれ。
また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●**壁や家具・天井などの近くに置かない。**
壁、家具、天井やカーテンにシミがついたりカビの発生、変形の原因。

●**テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。**
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。

●**差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふきとる。**
火災の原因。

●**加湿しすぎない。**
長時間連続で加湿すると結露などで室内をぬらしたり故障の原因。

●**水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。本体内部、水槽に残った水は毎日捨てる。また本体内側、水槽は週2回程度定期的にお手入れする。**
汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。本体内側で水あかが膜状になって付着し、吹出口より風とともに吹き出すことがあるのでこまめにお手入れをすること。

●**気化フィルターセットはこまめに手入れする。**
本体内部の汚れが取れにくくなり、加湿量の低下やカビ、雑菌の繁殖による悪臭、故障の原因。
また汚れや破損がひどくなったときは交換すること。（お手入れのしかた→11～12ページ参照、消耗部品→12ページ参照）

●**気化フィルターセット、吸気グリルをはずしたまま使用しない。**
性能が発揮されず、また本体内部に水あかなどがたまり、故障の原因。

●**凍結に注意。**
使用しないときは水タンクと本体から水をぬくこと。
凍結したまま使用すると故障の原因。

●**本体をさかさにしない。**
底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

快適な加湿をするためのポイントと、商品を末永くお使いいただくためのお願いを記載しています。

異常音と間違えないように、作動音について説明しています。

2 お使いになる前に

各部のなまえとはたらき

水タンクとっ手

●水タンク

給水検知部

水タンクふた

切替えレバー

吹出グリル（吹出口）
加湿空気を吹出します。
マイナスイオンも吹出します。

操作・表示部
（6ページ参照）

●本体

送風ファン

「排水方向」表示

芳香剤取りつけ部※
（芳香剤は別売部品→14ページ参照）

気化フィルターケースとっ手

気化フィルター
（消耗部品→12ページ参照）

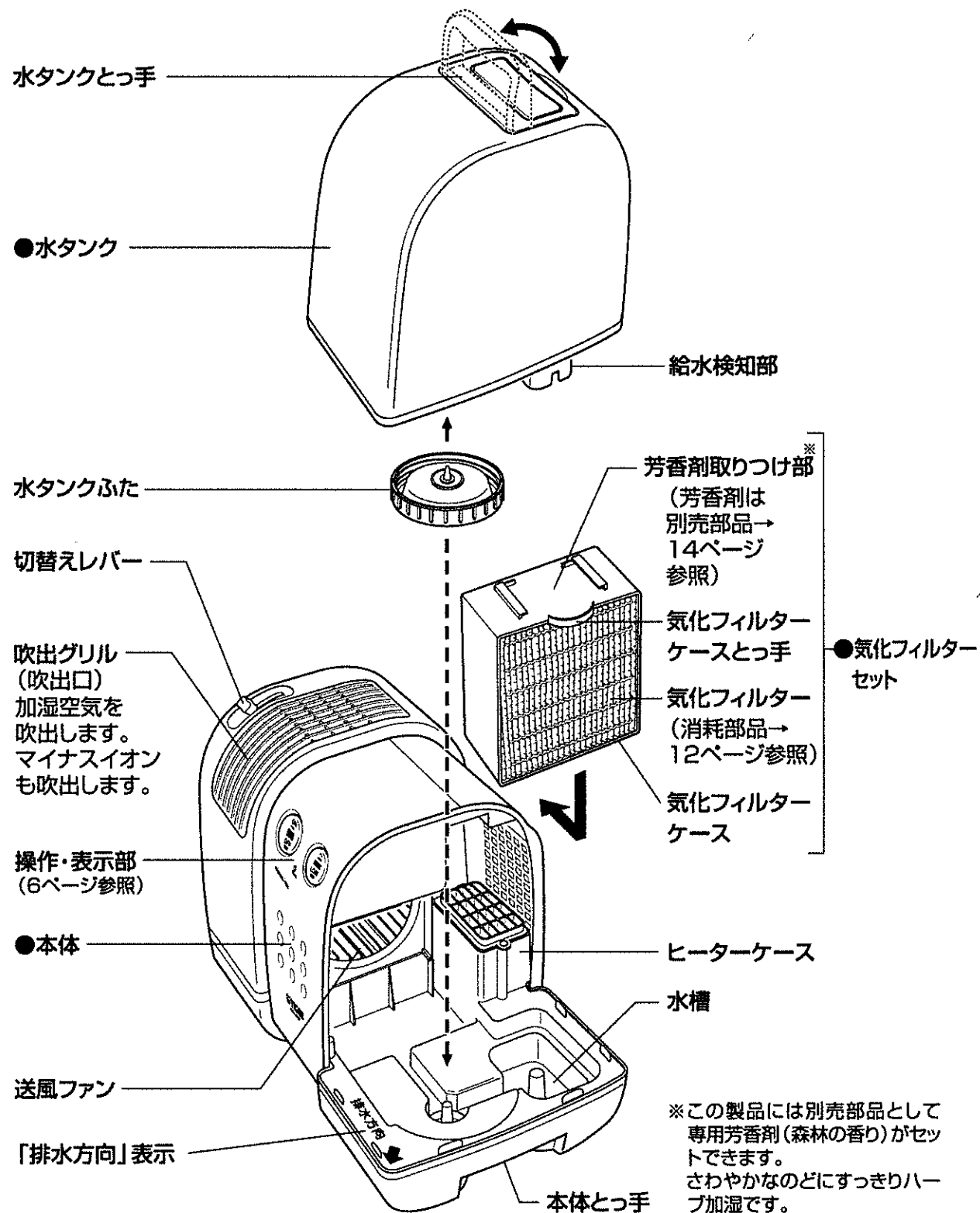
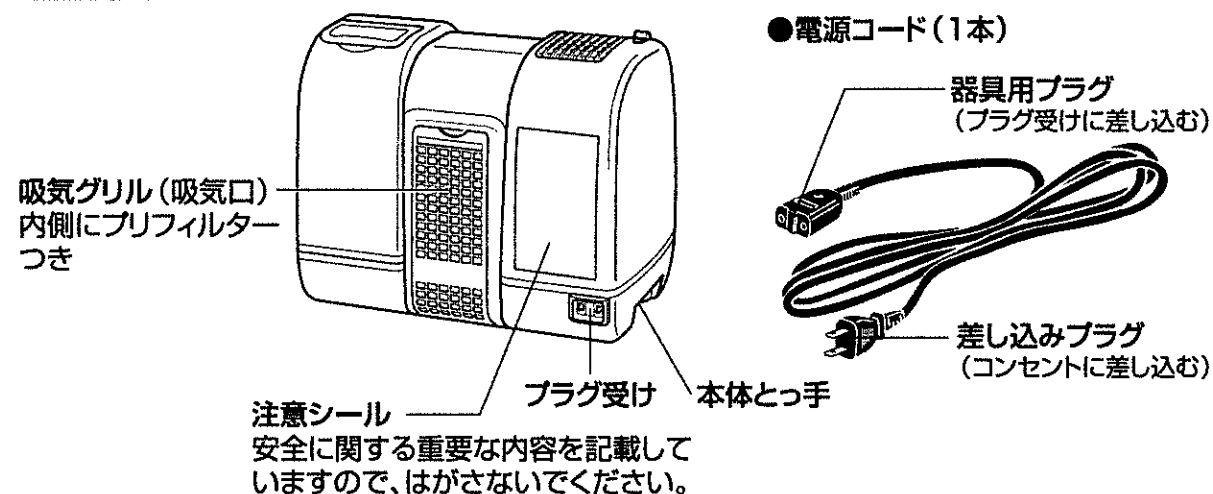
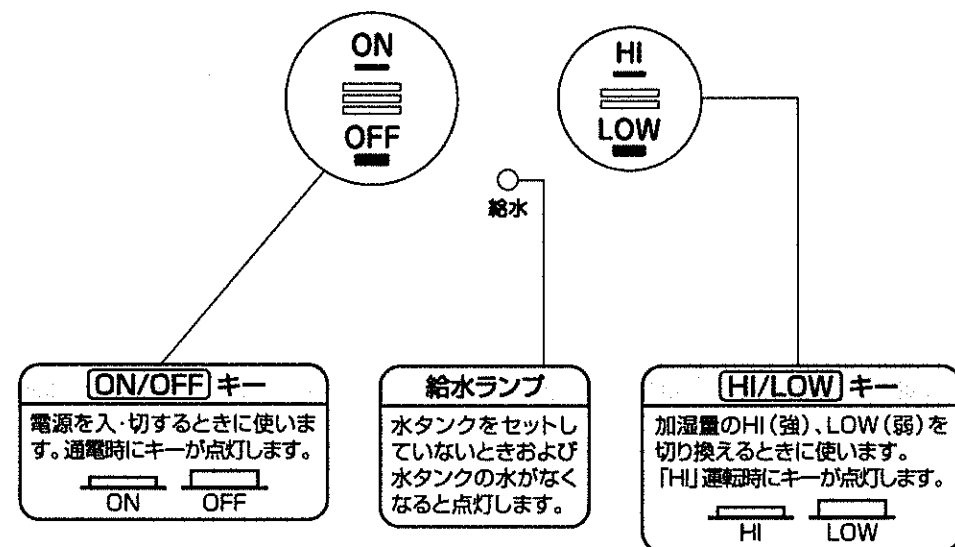
気化フィルターケース

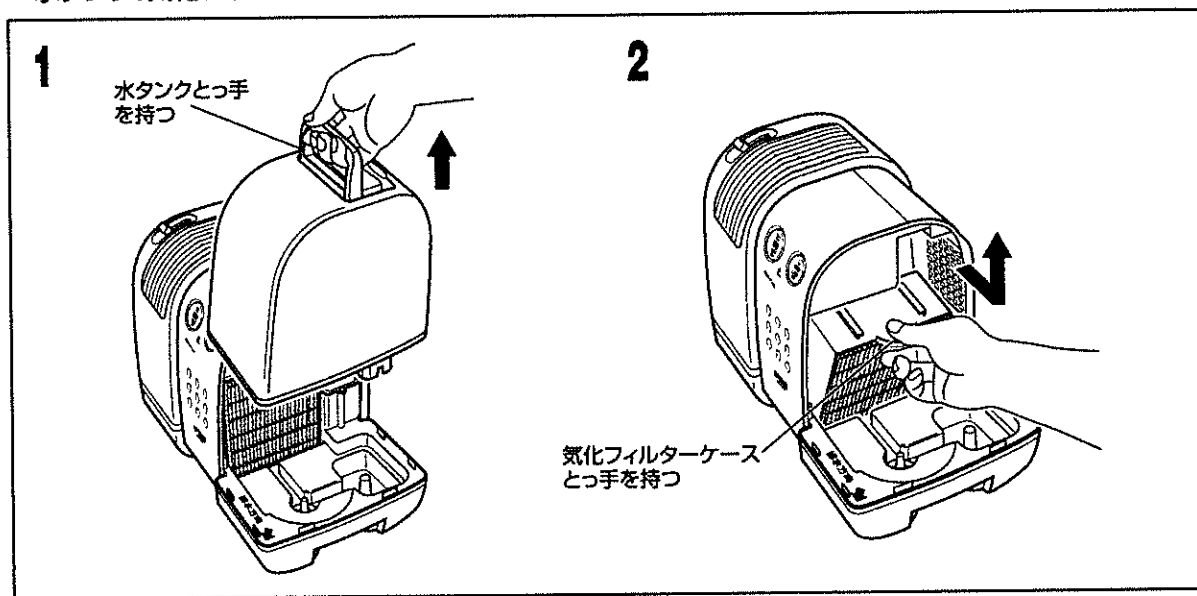
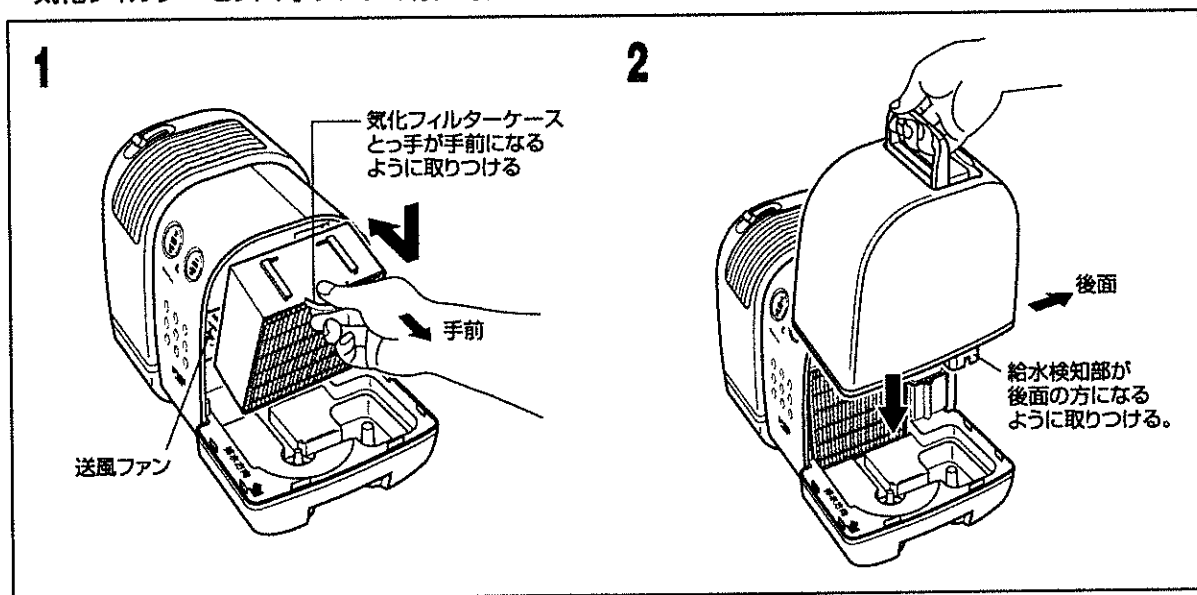
●気化フィルターセット

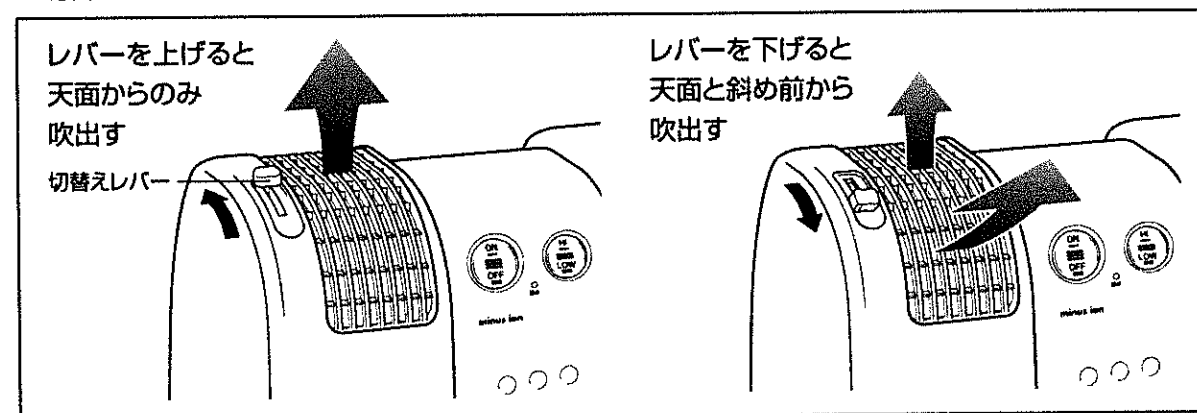
ヒーターケース

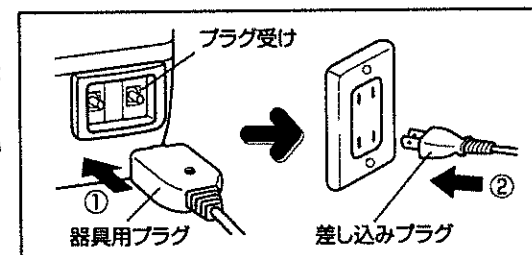
水槽

本体とっ手

※この製品には別売部品として専用芳香剤（森林の香り）がセットできます。
さわやかなのどにすっきりハーブ加湿です。

各部の使いかた

●水タンク、気化フィルターセットのはずしかた
水タンク、気化フィルターセットの順に持ち上げてはずしてください。

●気化フィルターセット、水タンクの取りつけかた
気化フィルターセット、水タンクの順に取りつけてください。

●気化フィルターセットが正しく取りつけられているかを確認してから水タンクを取りつけてください。
正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができない、また故障の原因になります。

●加湿の吹出し方向の変えかた
切替えレバーを上げ下げして、加湿の吹出し方向を変更できます。

●電源コードの接続のしかた
電源コードの器具用プラグは、本体のプラグ受けに差し込んでください。
器具用プラグには、磁石がついています。電源コードの差し込みプラグは、コンセントに差し込んでください。

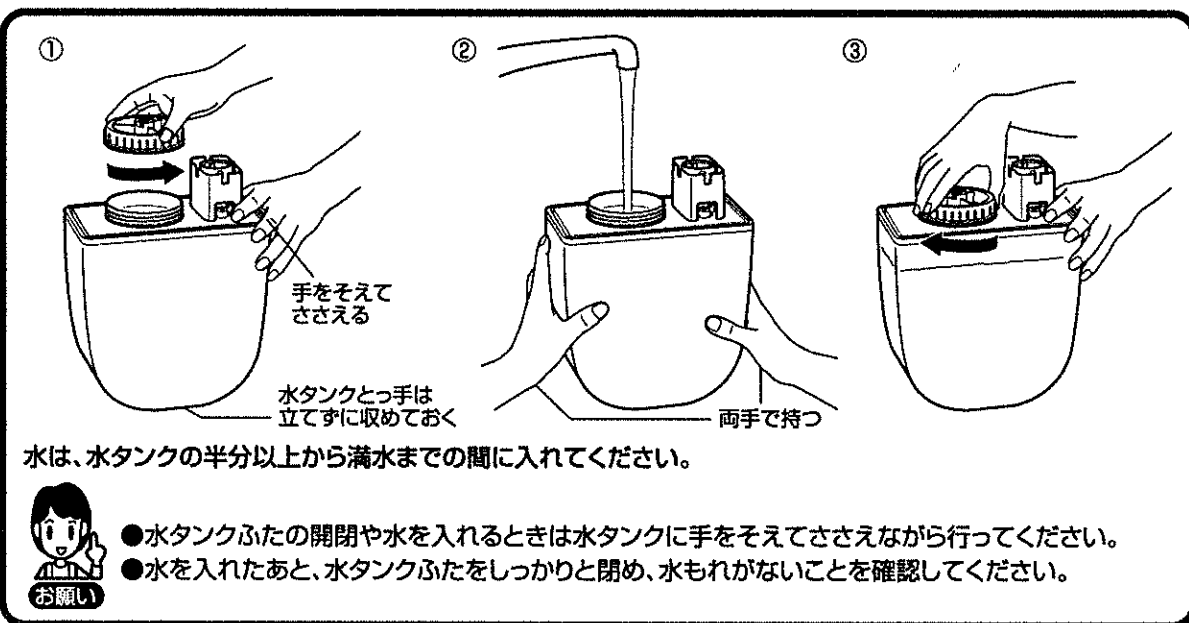
3 仕様

項目		50Hz	60Hz
電源		100V	
周波数		50Hz	60Hz
消費電力		HI 240W LOW 22W	HI 235W LOW 19W
加湿能力(約)※1		HI 500mL/h LOW 200mL/h	HI 470mL/h LOW 200mL/h
連続加湿時間<最長>(約)※2		HI 8時間 LOW 20時間	HI 8時間 LOW 20時間
適用床面積(目安)(使用状況、環境により異なります。)	木造和室	HI 12㎡(8畳) LOW 5㎡(3畳)	HI 12㎡(8畳) LOW 5㎡(3畳)
	プレハブ洋室	HI 20㎡(13畳) LOW 9㎡(5.5畳)	HI 20㎡(13畳) LOW 9㎡(5.5畳)
マイナスイオン量(約)目安※3		10,000個/cm³	
水タンク容量(約)		4L	
サイズ(約)幅×奥行×高さ		35×21.6×28.6cm	
質量(約)		3.7kg	

※1 切替えレバーを下げた場合の数値です。
※2 水量・満水、水温、室温・20℃、電圧・交流100V、湿度30%
※3 マイナスイオン量について
・6畳にて「HI」運転時、本体より1m前方、高さ1mでの数値です。(当社試験室、室温20℃、相対湿度60%にて当社イオン測定器による測定値結果)
・マイナスイオン量は使用環境(室温、湿度、空気の汚れなど)によって異なります。

4 加湿のしかた

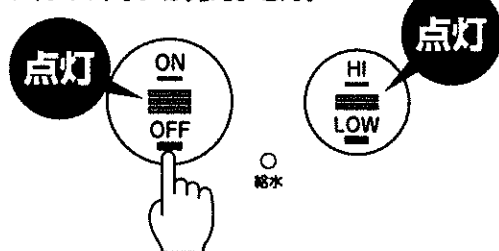
1 水タンクを取り出して水道水を入れる。

水は、水タンクの半分以上から満水までの間に入れてください。

●水タンクふたの開閉や水を入れるときは水タンクに手をそえてささえながら行ってください。
●水を入れたあと、水タンクふたをしっかりと閉め、水もれがないことを確認してください。

2 水タンクを本体にセットする。（7ページ参照）

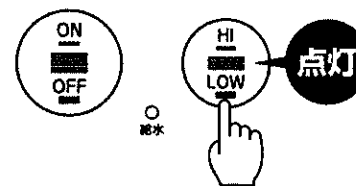
3 電源コードを接続する。（8ページ参照）

4 ON/OFF キーを押す。

ON/OFF キーが点灯します。「HI」運転を選択していたときは HI/LOW キーも点灯し、加湿が開始されます。蒸気や霧は見えません。
※マイナスイオンも発生します。
マイナスイオンは見えません。

（「HI」運転の場合）

●はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。
●水タンクをセットした直後、ON/OFF キーを押すと給水ランプが点灯することがありますが、しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水ランプが消えます。
●水タンクをセットしないとON/OFFキーを押しても給水ランプが点灯して運転が開始されません。

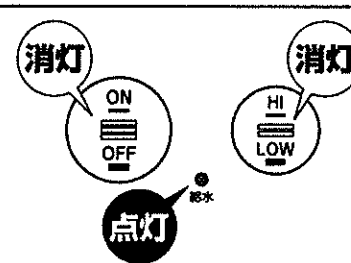
●運転中に「カチカチ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

5 加湿量を HI/LOW キーを押して選ぶ。

（「HI」運転を選択した場合）

HI/LOW キーを押します。
押すごとに「HI」「LOW」と加湿量が切り換わります。
「HI」選択時は HI/LOW キーが点灯し、「LOW」選択時は消灯します。
（連続加湿時間の目安は8ページの「仕様」を参照）

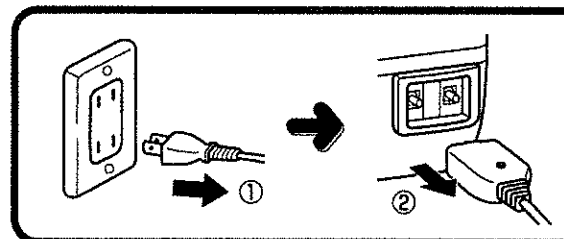
水タンクの水が少なくなった場合…

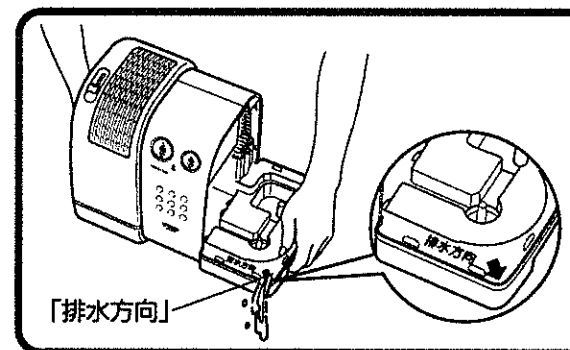
水タンクの水が少なくなると、給水ランプが点灯しその後ヒーターへの通電が自動的に止まります。ON/OFFキー、HI/LOWキーとも消灯します。

●続けて使用する場合は、いったん ON/OFF キーを押して電源を切り、本体が冷めてから水槽、本体内部に残った水を捨ててください。（水の捨てかたは下記の「5、使い終わったら」を参照）
その後水タンクに水を補給してお使いください。

5 使い終わったら

1 ON/OFF キーを押す。

ON/OFF キーが消灯します。
「HI」運転時は HI/LOW キーも消灯します。

2 電源コードのプラグをはずす。

3 本体が冷めた後、水タンク、気化フィルターセットをはずす。（はずしかたは7ページ参照）

4 下図の要領で、本体内部に残った水を捨てる。

●水タンクをはずすと給水検知部から水滴が落ちる場合がありますのでご注意ください。
●違った方向から水を捨てると、故障の原因になります。
●気化フィルターセットを取りつけたまま残った水を捨てると抜け落ちることがありますので必ずはずしてから水を捨ててください。
●水タンク、水槽、本体内部に残った水は放置しないでください。変色やにおいの原因になります。

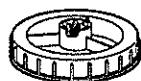
6 お手入れのしかた

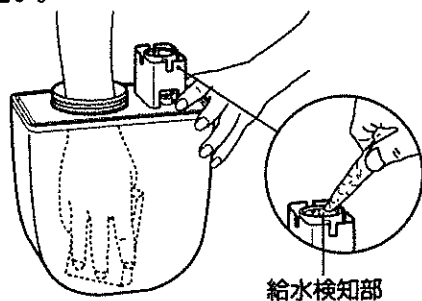
お願い

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
●本体の丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●お手入れするときは、プラグをはずし、本体が冷めて本体内部の水を捨ててから行ってください。
●洗剤、シンナー、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などは使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。
●お手入れ後は各部品を必ずもとの位置に取りつけてください。正しく取りつけられていないと故障の原因になります。

**常に清潔に保ち、性能低下、悪臭を防止するために
こまめにお手入れをすることをおすすめします。**
水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。本体内部、水槽に残った水は毎日捨ててください。
また本体内側、水槽は週2回程度定期的にお手入れしてください。
そうしない場合、本体内側で水あかが膜状になって付着し、吹出口より風とともに吹き出すことがあります。

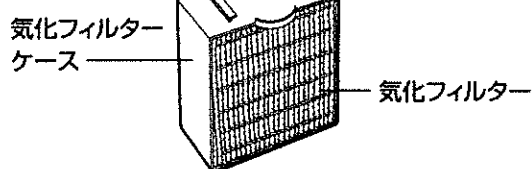
水タンクふたのお手入れ

月2回程度、ぬるま湯でスポンジを使ってすすぎ洗いをしてください。

水タンクのお手入れ

週1～2回程度スポンジでこまめにお手入れしてすすぎ洗いをしてください。
給水検知部は割りばしなどに布をまきつけて汚れをふきとってください。

本体外側、本体内側、水槽のお手入れ

よくしっぼったふきんで汚れをふき取ってください。
本体内側や水槽は週2回程度気化フィルターセットをはずして、本体内部に残った水を捨ててから行ってください。

気化フィルターセットのお手入れ

週2回程度、水またはぬるま湯の中でふり洗いをして汚れや水あかを落としてください。
気化フィルターケースはやわらかい布で汚れをふき取ってください。（気化フィルターは消耗部品→12ページ参照）

水あか（茶色や白い固まり）がとれにくいときは

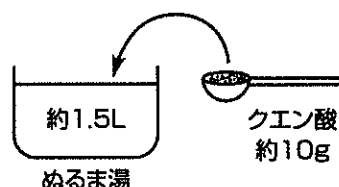
クエン酸を使って洗浄してください。※クエン酸は薬局・薬店で市販されていますのでお買い求めください。

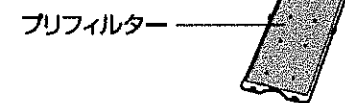
●**使用量は**：ぬるま湯1.5Lあたり、約10g（大さじすりきり1杯程度）です。
濃度が高いと部品破損の原因になります。

●**使用後は**：クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

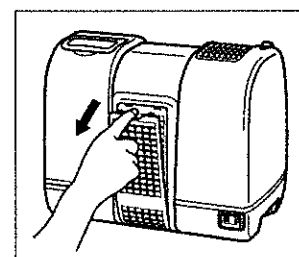
約1.5L
ぬるま湯
クエン酸
約10g

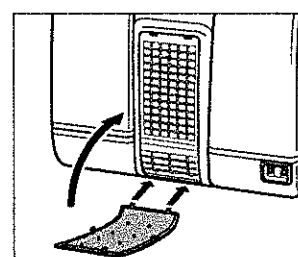
■気化フィルターセット
①クエン酸を溶かしたぬるま湯に約15分つける。
②新しい水でしっかりふり洗いをする。
※水あかがこびりついたまま使用すると、性能の低下、故障、破損の原因になりますのでこまめにお手入れしてください。

■本体内側
本体の内側は、クエン酸を溶かしたぬるま湯に浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れをふき取る。
※水をかけて洗わないでください。

吸気グリル・プリフィルターのお手入れ

週1回程度、はずして吸気グリルの内側についているプリフィルターを水洗いしてください。

プリフィルター

●吸気グリルのはずしかた、取りつけかた

はずすときは少し下に押し手前に引いてください。

取りつけるときは本体下部に吸気グリルのツメをはめ込み、そのまま押して取りつけてください。

お願い

●吸気グリル、プリフィルターの汚れがひどくなると、性能の低下、故障の原因になります。

長期間ご使用にならないときは

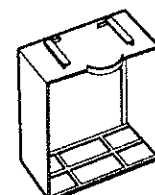
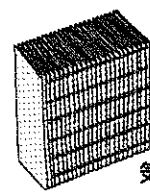
お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。
（特に本体内部、気化フィルターセットは充分に）
気化フィルターセットは本体より取りはずしてください。
保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

お願い

●湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。
●旅行などで数日間使用しないときは、水タンク、水槽、本体内部に残った水を捨てておいてください。

7 消耗部品の取り替えについて

気化フィルターは消耗部品です。お買い求めになるときは、お買い上げの販売店にお問い合せください。

気化フィルター　品番：ASN-K10F

1日にHI運転で約6時間毎日使用したとして約6カ月間を目安に交換してください。（寿命は使用状況により異なります。）また6カ月以内でも汚れや水あかが落ちなくなった場合は気化フィルターケースからはずして交換してください。気化フィルターを廃棄するときは不燃物ゴミとして捨ててください。

交換用の気化フィルターは、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→14ページ参照）で右記の通りご指定の上お問い合せください。	タイガーハイブリッド式加湿器交換用気化フィルター 品番:ASN-K10F メーカー希望小売価格:○○○○円（税別） （価格は2003年8月現在）

樹脂成形品について
※熱や蒸気に触れる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、
お買い上げの販売店にご相談ください。

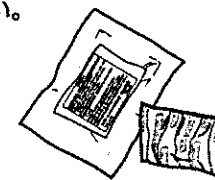
ご自分での修理は、
危険ですから絶対にしないでください。

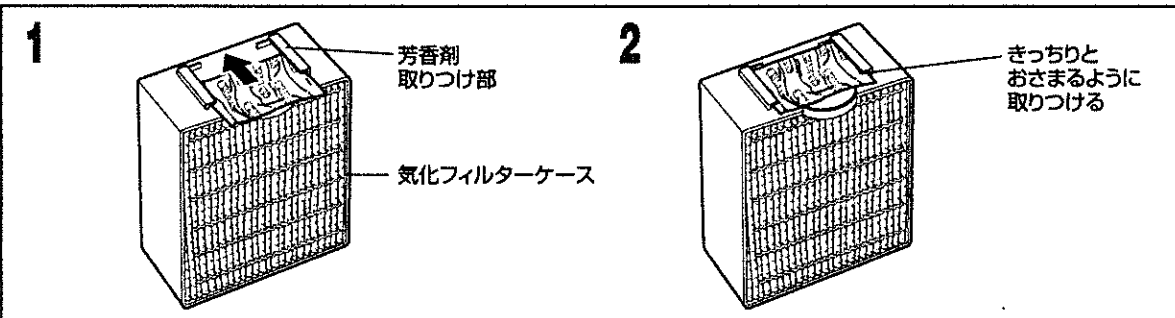
こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
蒸気・霧が出ない、見えない	●この製品は気化フィルターに温風をあてて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。		1
電源を「ON」にしても加湿しない	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	8
	●給水ランプが点灯していませんか。(水タンクに水は入っていますか。)	水タンクに給水しセットしてください。	10
	●水タンクを本体からはずしていませんか。	給水した水タンクを本体にセットしてください。	9
風の出が少ない	●吸気グリルのプリフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	プリフィルターのお手入れをしてください。	12
	●気化フィルターセットに水あかやゴミが付着していませんか。	気化フィルターセットのお手入れをしてください。	11
	●「LOW」運転にしていませんか。	「HI」運転に比べ風の出が少ない運転です。	
水タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	●水タンクをセットした直後ではありませんか。	しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水ランプが消えます。	9
	●本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	
湿度が上がらない	●部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	8
	●換気をしていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	
ニオイが出る	●気化フィルターセット、本体内側、水槽が汚れていませんか。	気化フィルターセット、本体内側、水槽のお手入れをしてください。	11
	●水タンク、本体内部、水槽の水を放置したままになっていませんか。	水タンクの水は毎日入れ替えてください。また本体内部、水槽に残った水は毎日捨ててください。	4·10·11
マイナスイオンが出ない、見えない	●(ON/OFF)キーは点灯していますか。	マイナスイオンは見えません。(ON/OFF)キーが点灯しているときはマイナスイオンが発生しています。	9
水もれする	●水タンクふたを、しっかり閉めていますか。	水タンクふたを、しっかり閉めて本体に取りつけてください。	9
水槽、本体内側に異物がたまる	●気化フィルターセット、水槽、本体内側を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	11
	●水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	3

※樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク(樹脂成形時に発生する線状および波状の跡)で、ご使用上の品質に支障はありません。

9 別売部品について

この製品には別売部品として専用芳香剤(森林の香り)がセットできます。
芳香剤をセットして運転すると、のどにすっきりなハーブ加湿ができます。
お買い求めになるときは、製品をお買い上げのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(連絡先→下記参照)で下記の通りご指定の上お問い合せください。

タイガーハイブリッド式加湿器交換用芳香剤(森林の香り)
品番:ASL-C010(3袋入り)　メーカー希望小売価格:800円(税別)
(価格は2003年8月現在)

芳香剤の取りつけかた

気化フィルターケースの芳香剤取りつけ部に芳香剤を取りつけて本体にセットしてください。

- ●芳香剤は使用直前に外袋(アルミ袋)から取り出して、不織布に入ったままでセットしてください。開封後は早めに使用してください。
- ●芳香剤は食べられません。誤って口に入れないよう、乳幼児の手の届くところには保管しないでください。
- ●芳香剤は他の用途には、使用しないでください。
- ●火気や直射日光を避け、高温にならないところで保管してください。
- ●本体を使用する部屋の大きさにより、香りの伝わり方が異なる事があります。
- ●芳香剤は体質にあわない場合はご使用をおやめください。
- ●取りつけ、取りはずしは、必ずプラグを抜き、本体や気化フィルターセットが充分冷めてから行ってください。
- ●長期間ご使用にならないときは本体より取りはずしておいてください。

芳香剤1袋あたりの寿命
約15日間(加湿量「HI」で1日あたり約6時間毎日使用時)
※寿命は使いかた、環境により異なります。
廃棄するときは不燃物ゴミとして捨ててください。